2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	ビジネスマナー				
担当教員	小林　美江		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	組織、お客様、取引先などと良好な人間関係を保ちつつ、仕事の成果をあげるためにビジネスマナーを身につける。 また、9月に受験をする社会人常識マナー検定に向けて、過去問題は宿題で行い、合格点に達しない学生は補講を行い、合格できる準備を整える。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	社会人常識マナー検定に合格できる、ビジネスマナーを身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	株式会社ウイネット　実践ビジネスマナー 公益社団法人全国経理教育協会　社会人常識マナー検定試験				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	仕事に取り組む心構え	P8-12 教務室入退室・書類の提出の仕方チェック
2	報告・連絡・相談、会社の組織	P13-16 指示を受けて業務を遂行し報告するロールプレイング
3	基本動作、言葉の遣い方	P18-30 お辞儀・椅子の座り方チェック
4	受付の仕方、名刺の渡し方	P32-40 受付ロールプレイング
5	取り次ぎの仕方、案内の仕方	P41-48 受付→応接室案内ロールプレイング
6	応接室の案内の仕方、お茶の出し方、環境整備	P49-56 お茶出しロールプレイング
7	電話の受け方、伝言メモ	P55-69
8	電話のかけ方	P70-76 インターンシップ確認電話ロールプレイング
9	慶事業務	プリント
10	弔辞業務、お見舞い	プリント
11	社内で使用する備品、郵便の取り扱い	プリント
12	ビジネス文書とは、社内文書作成の仕方、メールの送り方	プリント iPad（スマホ）でメール作成送信添削
13	社外文書作成の仕方	プリント PC（iPad）で社外文書作成提出添削
14	お礼状の作成の仕方	プリント 直筆でお礼状作成提出添削
15	期末試験	
16	期末試験、解答・解説	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	積極的にロールプレイングに取り組み、提出物の期限は守ること。 インターンシップ前後に行う電話がけやお礼状作成など、マニュアル通り行えないことを理解し、臨機応変に応対できるように毎日の学校生活でもビジネスマナーを意識すること。

実務経験教員の経歴	

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	コンピュータ実習Ⅰ				
担当教員	古俣　秀子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	日本語文章入力をある程度の速さで、正確に行えるようにする Excelの理解を深め、自信をもって活用できる基本技能を身につける Wordの理解を深め、活用できる基本技能を身につける 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	Excel表計算処理技能認定試験　３級　取得 Word文書処理技能認定試験　３級　取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Word2019 クイックマスター 基本編/Excel2019 クイックマスター 基本編 Word文書処理技能認定試験 ３級問題集/Excel文書処理技能認定試験 ３級問題集				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	新規フォルダー作成・ファイルコピー Chapter1 Excelの基本　Chapter2 データの編集	画面構成、用語の確認 範囲選択　文字の入力、数値の入力
2	Chapter2 データの編集 ●問題集 練習問題1【問題2】(1)～(3)	日付の入力、オートフィル、数式、合計関数、相対参照・絶対参照、コピー・移動
3	Chapter3 表の編集 ●問題集 練習問題2【問題2】(1)～(3)	セルの書式設定、表示形式
4	Chapter7 関数	基本関数の意味と使い方（平均、最大、最少、データの個数、順位）
5	Chapter8 データベース機能 ●問題集 練習問題1【問題2】(4)～(6)、【問題3】	並べ替え、フィルター
6	●問題集 練習問題2【問題2】(4)～(6)、【問題3】 Chapter5 グラフと図形の作成　Chapter6 ブックの利用と管理	グラフ作成・編集、ワークシート名の変更、シートコピー
7	Chapter4 ブックの印刷 ●問題集 練習問題1 完成	ページ設定、グラフ作成・編集の基本、スパークライン
8	●練習問題２～3	解説誘導しながら 答案解答作成
9	●練習問題4～5	各人のペースで解答 巡回してチェック・ポイント解説
10	●練習問題6～7	〃
11	●練習問題8～9	〃
12	●練習問題10、模擬問題2	〃
13	●模擬問題3～4	〃
14	●模擬問題5～6	〃
15	●試験実施プログラム 模擬問題1	前問題振り返り 時間計測して実施、解答ファイル採点
16	検定	
17	新規フォルダー作成・ファイルコピー Chapter1　Wordの基本	授業の目的の理解 Windows基本操作、基本知識の重要性
18	Chapter2　文字の入力と編集の基本操作 Chapter3　文書の編集	日本語入力の基本操作の確認 正確な入力の重要性、コピー・移動の状況に応じた方法
19	Chapter3　文書の編集	Wordにおける段落書式の重要性
20	Chapter3　文書の編集 Chapter4　文書の印刷	C2～3で学習した内容を該当設問で確認
21	Chapter5　文書の作成	タブ機能の重要性の理解、タブ設定とタブ挿入の理解 ルーラーの重要性の確認
22	Chapter6　表を使った文書の作成	表作成・編集の基本の理解、操作に応じたリボンの確認 C4～6で学習した内容を該当設問で確認
23	Chapter7　図形や画像を使った文書の作成	オブジェクト作成・編集操作の基本の理解
24	練習問題１	QMで学習した機能を確認しながら設問解答 実用目的の成果物として完成させる
25	練習問題２～	「作成」ファイルと「編集」ファイルの保存の必要性、名前を付けて保存と上書き保存の理解の重要性
26	練習問題	完成確認後、各自で次の練習問題に進む 練習問題2「編集」の確認と疑問点などの確認・回答
27	練習問題	〃
28	模擬問題	〃
29	模擬問題	〃
30	試験実施プログラム 模擬問題	プログラム操作方法・試験の流れの確認 画面配置に慣れる。解答ファイル採点
31	試験実施プログラム サンプル問題	前問題振り返り　時間計測して実施　解答ファイル採点
32	検定	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	パソコンスキルはどの業界へ就職しても必須となります。パソコンの基本的な操作の仕方、文書作成の方法をしっかりマスターしましょう。授業中に分からない事や上手く出来なかった事は休み時間を利用して練習をしましょう。

実務経験教員の経歴	一般向けパソコン教室において20年以上関わっていた

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	コミュニケーション実践Ⅰ				
担当教員	中山大輝/野口沙耶香		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	対面交流場面における「話す」行為において、相手の状況を正しく理解した上で、自分の意志を目的や場面に応じた適切な表現でわかりやすく示し、効果的に相手に伝えることを学ぶ。 社会人常識マナー検定３級の合格を目指すために、対策授業を行い、合格点に達しない者は補講を行う。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	周囲の人と「話す」こと、「聞く」ことによって円滑なコミュニケーションをとることができる。 社会人常識マナー検定３級の合格ができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	株式会社サーティファイ　社会人常識マナー検定公式ガイドブック＆問題集				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	コミュニケーションを考える、目的に即して聴く	P2-9
2	傾聴・質問する	P10 -14
3	目的を意識する、話を組み立てる	P15-22
4	言葉を選び抜く	P23-29
5	表現・伝達する	P30
6	来客応対	P36-39
7	電話応対	P40-43
8	アポイントメント・訪問・挨拶	P44-48
9	情報共有の重要性、チームコミュニケーション	P49-59
10	接客・営業、クレーム対応	P60-71
11	会議・取材・ヒアリング、面接	P72-82
12	模擬問題	P84-99
13	過去問題①	P100-115
14	過去問題②	P116-131
15	過去問題③	P132-148
16	検定	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	検定合格のために、毎回授業に出席する。

実務経験教員の経歴	

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	就職実務Ⅰ				
担当教員	竹石　拓矢		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかり理解した上で就職活動を進めていく。 身だしなみセミナー、求職登録面接、就職研修、インターンシップを通して、翌年（翌々年）の就職活動を意識する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	就職活動の心構えと流れを知ることができる。 自分と職業を理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	求職登録面接とは何か、求職票作成の仕方	プリント
2	インターンシップとは何か、インターンシップ申込書作成の仕方	プリント
3	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる	プリント
4	求職票作成、自己PR作成、面接練習①	個人作業
5	求職票作成、自己PR作成、面接練習②	個人作業
6	求職票作成、自己PR作成、面接練習③	個人作業
7	求職票作成、自己PR作成、面接練習①	個別作業
8	求職票作成、自己PR作成、面接練習②	個別作業
9	求職票作成、自己PR作成、面接練習③	個別作業
10	身だしなみセミナー、求職登録面接	女子メイクセミナー、男子身だしなみセミナーを受講 求職登録面接を受ける
11	企業研究の仕方、志望動機の書き方	プリント
12	企業研究の仕方、志望動機の書き方	個人作業
13	履歴書作成、志望動機作成①	個別作業
14	履歴書作成、志望動機作成②	個別作業
15	インターンシップ日誌の作成の仕方	個人作業
16	就職研修	インターンシップに向けての心構えと問題事例、また今後の就職活動に向けての心構えを学ぶ

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	書類作成や面接練習をすることもあるので、毎回授業に出席し、提出物などの遅れがないようにする。面接練習は必ず事前に準備をしておくこと。

実務経験教員の経歴	

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	しつけトレーニング実習				
担当教員	金子　真弓		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	1.犬のトレーニング実技を行う。 2.実際の道具やデモンストレーションを見る。 3.テキストやホワイトボードを使用し内容を説明。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	正の強化と負の強化を使ったトレーニング方法を理解し、実行できるようになる 犬と関わる上での必要な事や必要な物を理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	犬の問題はこうして直す「THE Tool Box」				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	・犬の観察・しつけとは？、問題行動とは？飼い主にとって好ましくない行動⇒好ましい行動として肯定文として説明	
2	・リーダー、アルファとは？上下関係、主従関係×、パピーの給餌について、所有欲について　・おもちゃで遊ぶことについて	テキスト使用
3	・飼い主の手を良いものに学習させる　・"ピーナッツバター療法"でケア時に条件付け、マズルコントロール、アルファロール×	テキスト使用
4	・ケージ/クレートに関して（何故ケージが必要か？） ・オスワリ、フセ、タテをそれぞれの姿勢から誘導	実際の道具を見せる、トレーニングの方法をデモンストレーション
5	・犬を家族として迎え入れる前に準備するモノは？ ・名前を教える、アイコンタクト、近くを歩く	実際の道具を一部見せる
6	・犬を家族として迎える前に準備しておきたいコトについて どんな犬？成犬or子犬orオスorメス、犬種など	
7	・ストレスについて　3つの"F"、カーミングシグナルについて ・実習：立ち方について（バランス良く立つ、犬側の肩に立ち犬側を	テキスト使用
8	・犬の行動問題について：原因は？犬種の特性、身体の不快、先天的な要因、社会化不足などについて	
9	・学習理論：報酬はランダムにしていく、誘導から合図をつける⇒ハンドシグナル	
10	・トイレトレーニングについて ・ハンドシグナルでオスワリ、フセ、回す、マッテ、Tタッチ	DVD鑑賞
11	・合図を教えるトレーニングについて	
12	・嫌悪刺激を使ったトレーニング⇔ほめる（モチベーションを使った方法）	
13	セトルダウン：飼い主の足元で大人しく落ち着く（フセの状態で）、マグネットトレーニング：誘導とは異なり、全てのトレーニングの幹	足元でフセるトレーニングのデモンストレーション
14	・ボディランゲージ、カーミングシグナルについて ・呼び戻し、近くを歩く（人がポール役になり、8の字で歩く）	DVD鑑賞
15	・古典的条件付け（拮抗条件付け、逆条件付け）、正の罰について罰とは？：嫌悪刺激	
16	・散歩の引っ張りについて（ジェントルリーダー、ハルティ、イージーウォークハーネスについて）	実際の道具を見せてデモンストレーション
17	・シェーピングについて（人だけでクリッカーの練習）	トランプを使用して、人同士で練習
18	・動画鑑賞：パピークラス、フリースタイルなど ・実習：クリッカートレーニング、犬がイスの上に前足を乗せる、イ	モニターより動画観賞（実際の教室の様子など）
19	・Tool Box：健康、環境を豊かにする、リーダーシップ、管理、妥協、原因を取り除く、系統的脱感作、ご褒美を取り除く	テキスト使用
20	・Tool Box：両立しない行動にご褒美を与える、慣らす、関連付けの改善、嫌悪刺激、Tool Boxを使って、問題を解決を考える（8組に分	テキスト使用
21	・シェーピング（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング：クリッカー配布	
22	・シェーピング②（クリッカートレーニング、基準が大きい場合は細かく分ける）	
23	・シェーピング③（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング、犬にクリッカーでトレーニング	
24	・シェーピング④（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング、犬にクリッカーでトレーニング	
25	・シェーピング⑤（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング、犬のクリッカーでトレーニング	
26	・シェーピング⑥（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング、犬のクリッカーでトレーニング	
27	・犬の本能：食物獲得、危険回避、繁殖⇒トレーニングで食物獲得を利用、食べ方が強い（痛い）犬のトレーニング、おもちゃ遊びデモ	
28	・犬の本能：食物獲得、危険回避、繁殖⇒トレーニングで食物獲得を利用、食べ方が強い（痛い）犬のトレーニング、おもちゃ遊びデモ	
29	・古典的条件付、拮抗条件付、脱感作について	
30	・オペラント条件付けについて	
31	・呼び戻しについて	
32	・トリーツをランダムにしてルアーを無くすトレーニングについて	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
レポート提出100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	しつけイントラクターとして25年以上活動

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	人と動物の関係学				
担当教員	山﨑　恵子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	現在、国際的に動物愛護がどのように進んでいるのか？日本の現状は？今後取り組んでいく課題は何なのか？を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	日本や世界の動物業界の現状や動物福祉のあり方について理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物の代弁者になることについて	
2	真の動物愛護とは	
3	ブリーディングの問題	
4	飼い主の責任	
5	動物の死とペットロス	
6	シェルターワーク	
7	動物虐待	
8	災害時の動物	
9	犬のデイケア	
10	犬猫の行動学	
11	Tタッチ理論	
12	Tタッチ実践	特別講義
13	動物愛護教育	
14	動物保護活動	
15	期末試験	
16	エコ・ツーリズム	
17	動物愛護法	
18	アニマル・エシックス（実験動物・産業動物）	
19	アニマル・エシックス（展示動物）	
20	アニマル・エシックス（補助犬）	
21	安楽死とペットロス	特別講義
22	動物愛護法と動物の福祉	特別講義
23	期末試験	
24	動物との共生	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	全ての授業に出席し、かつ毎回のテーマごとにレポートを提出すること。

実務経験教員の経歴	動物業界団体に長期に渡りかかわっている

科目名	AAA概論Ⅰ				
担当教員	山﨑　恵子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	動物介在活動と動物介在療法の基本を理解する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	一般社団法人アニマル・リテラシー総研が提示するプログラム課程を理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	一般社団法人日本動物福祉協会　どうぶつのきもち				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	AAAとは	
2	AATとは	
3	定義の重要性①	
4	定義の重要性②	
5	医療チームとは	
6	動物の適性①	
7	動物の適性②	
8	AATを活用する現場の種類	
9	QOLとは	
10	リハビリテーション①	
11	リハビリテーション②	
12	エイズとAAT	
13	ヒポセラピーとRDAの違い①	
14	ヒポセラピーとRDAの違い②	
15	期末試験	
16	人獣共通感染症	
17	介助犬とユーザー	
18	日本の現状と諸問題①	
19	日本の現状と諸問題②	
20	日本の現状と諸問題③	
21	安楽死と飼い主対応	特別講義
22	動物福祉と動物愛護法	特別講義
23	期末試験	
24	日本の現状と諸問題④	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	全ての授業に出席すること。

実務経験教員の経歴	動物業界団体に長期に渡りかかわっている

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	AAA実習Ⅰ				
担当教員	青木　和孝		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係と心理学的および社会学的側面から理解する。 また、動物介在活動を安全に実施するにあたり必要な配慮やリスク管理を理解する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	人と動物の調和に関わることを学ぶことができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	職員作成パワポ資料				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	人と動物の関係の歴史	パワポ資料
2	人と動物の関係のなりたち	パワポ資料
3	人と動物の絆について	パワポ資料
4	動物が人に及ぼす影響について	パワポ資料
5	動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育の定義	パワポ資料
6	動物介在療法の事例紹介	パワポ資料
7	動物介在活動の事例紹介	パワポ資料
8	動物介在教育の事例紹介	パワポ資料
9	参加動物の選別基準	パワポ資料
10	参加動物に適した育成方法の選択	パワポ資料
11	さまざまな人と動物の関係	パワポ資料
12	AAIにおける人獣共通感染症のリスク	パワポ資料
13	ストレスの把握とストレス管理	パワポ資料
14	訪問活動に向けて	パワポ資料
15	期末試験	
16	期末試験の振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	科学的なエビデンスに基づいた人と動物の相互関係の理解。動物福祉を考慮した参加動物の選別とトレーニング法の選択を理解する。

実務経験教員の経歴	愛玩動物看護師として動物病院で現在も勤務中

科目名	AAA総論				
担当教員	山下　静香		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	ＡＡＡ、ＡＡＴについて理解をすることを目的に、訪問活動に必要な様々な技術を実践形式で行い、日々の生活でも活用できるよう身に付ける。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	●訪問活動に必要なコミュニケーション技術を身に付けることができる ●訪問活動に必要なハンドリングを理解し、実行することができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	［参考］　緑書房　動物看護の教科書　第1巻、教員作成資料				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	授業概要の説明、好きな動物・嫌いな動物	配布プリントにて書き込み
2	ＡＡＡ,ＡＡＴとは	配布プリントにて書き込み
3	ＡＡＡ実習の流れ、活動ＶＴＲ	配布プリントにて書き込み、実際の活動の様子を動画鑑賞
4	他己紹介インタビュータイム、他己紹介発表	ランダムにペアを決め、お互いを紹介し合う
5	水平思考とは	配布プリントにてゲーム形式で実践
6	水平思考クイズ	
7	カーミングシグナルについて	
8	犬の観察	犬を部屋内でフリーにして細かい動きを観察シートに記入 ※観察シートにて成績評価
9	犬の抱き寄せ	犬の正しい抱き寄せ方を見本、その後実践
10	リードの持ち方,扱い方、クレートの扱い方	様々な様式を正しく扱えるように実践
11	犬と仲良くなるには？	
12	犬と仲良くなるには？	
13	猫と仲良くなるには？	
14	振り返り	
15	期末試験	
16	まとめ	
17	WaNファミリーを知ろう♪	個々の性格の把握
18	WaNファミリーのプロフィールデータ確認	個々のプロフィールの把握
19	WaNファミリーの紹介カード作成	折り紙やラミネートを用いて高齢者にわかりやすいカードを工夫する
20	WaNファミリーの紹介カード作成	折り紙やラミネートを用いて高齢者にわかりやすいカードを工夫する
21	WaNファミリーの紹介カード作成	折り紙やラミネートを用いて高齢者にわかりやすいカードを工夫する
22	Myペットの紹介カード作成	自分のペットを紹介。レイアウトを工夫
23	Myペットの紹介カード作成	自分のペットを紹介。レイアウトを工夫
24	Myペットの紹介カード作成	自分のペットを紹介。レイアウトを工夫
25	コミュニケーションゲーム	
26	高齢者施設でのレクリエーション	AAA実習以外の施設でのレクリエーションを体験してみる
27	高齢者施設でのレクリエーション	AAA実習以外の施設でのレクリエーションを体験してみる
28	高齢者施設でのレクリエーション	AAA実習以外の施設でのレクリエーションを体験してみる
29	AAA実習についておさらい	活動の注意点を配布
30	振り返り	
31	期末試験	
32	まとめ	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
・犬の観察にて行う観察シートとその感想をまとめたレポートで成績評価をつける。 ・授業の取り組み状況や成果を成績評価とする。	AAA／AAT／AAEそれぞれの区別をまずは理解させるため、実際の動画を用いて視覚的にも正しい理解を深める必要がある。また、動物の扱いも初めての学生が多いため、見本を見せてから行う。ただ、動物へ負荷がかかりすぎないように注視する。

実務経験教員の経歴	動物看護師として訪問活動に参加経験あり

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	飼養管理士総論				
担当教員	野口沙耶香		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物が「命」あるものとし、「人と動物の共生」が必要となっている。そのための動物種の生態、管理や飼育方法について知識を身に付ける。また、動物に関連する法理についても学ぶ。 愛玩動物飼養管理2級の合格に向け、授業を行っていく。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	動物に関わる法律を理解し、動物種の生態・飼育方法をアドバイスできるようになる。 愛玩動物飼養管理士2級の取得。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	愛玩動物飼養管理士2級教本				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	鳥類について　形態的特徴、飼養管理（インコ、オウム）	単元が終了した時点で必ず確認テストを実施
2	鳥類について　飼養管理（フィンチ、ニワトリ、アヒル、ハト）	
3	鳥類について　繁殖、確認テスト	
4	からだの仕組み　からだの成り立ち、栄養・酵素を取り入れる	
5	からだの仕組み　老廃物の排出、情報を取り入れる、情報伝達	
6	からだの仕組み　確認テスト	
7	愛玩動物飼養管理士の社会活動	
8	愛玩動物飼養管理士とは	
9	愛玩動物飼養管理士について　確認テスト	
10	動物愛護論Ⅰ　海外と日本について	
11	動物愛護論Ⅰ　動物愛護運動について	
12	動物愛護論Ⅰ　確認テスト	
13	人と動物の関係学①	
14	人と動物の関係学②	
15	人と動物の関係学　確認テスト	
16	期末テスト	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物飼育施設にて勤務

科目名	エキゾチックアニマルⅠ				
担当教員	広川　美紀		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	現在飼育されている動物は、犬猫だけではないため、生体の特徴、飼育方法を理解する。 販売に携わる際には、飼育方法をアドバイスできるようになる。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	愛玩動物飼養管理士2級合格。飼い主に飼育アドバイスが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	愛玩テキスト２巻				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	ウサギ　飼養管理	
2	ハムスター　飼養管理	
3	モルモット　飼養管理	
4	フェレット　飼養管理	
5	チンチラ　飼養管理	
6	犬猫分類、歴史	
7	犬、猫の特徴	
8	犬猫と暮らす、環境	
9	犬猫のライフサイクル①	
10	犬猫のライフサイクル②	
11	犬猫の社会化	
12	しつけについて	
13	犬猫の毎日の生活　食事	
14	犬猫の発情、健康管理	
15	テスト＋(解説)	
16	解説	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師兼トリマー　10年、独立サロン経営　18年

科目名	動物関係法規				
担当教員	竹石　拓矢		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物取扱現場及び、公衆衛生、環境関連の動物関連の法規について理解を深め、動物福祉と安全な社会づくりに貢献する専門職として順守の精神を養う。 愛玩動物飼養管理士2級合格へ向けて、検定出題範囲の関連法について理解を深める。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	愛玩動物飼養管理士2級合格 動物に関連する法規範と倫理を理解することで、動物取扱業者における業務を円滑に行えるようにする。 法規範に基づく疾病予防等の飼い主義務について飼い主への助言が出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイント、レジュメ　愛玩動物飼養管理士2級第1巻				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物関連法令を学ぶ意義、日本の法令体系	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
2	動物愛護管理法の概要と基本原則、飼い主の責任	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
3	動物の飼養・保管に関する基準	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
4	動物取扱業者①	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
5	動物取扱業者の責務	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
6	動物取扱業者②、虐待と罰則、	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
7	特定動物、愛護管理法の普及啓発	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
8	動物愛護推進員と犬猫の収容	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
9	周辺の生活環境の保全	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
10	愛護法振り返りテスト	動物愛護法について振返りテストの実施
11	狂犬病予防法	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
12	身体障害者補助犬法	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
13	ペットフード安全法	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
14	鳥獣保護法、ペット業界の現状とこれからの課題	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
15	鳥獣保護法、ペット業界の現状とこれからの課題	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
16	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	本科目は愛玩動物飼養管理士2級合格に必要な法規範の知識を習得する。授業で配布する資料についても熟読が必要。

実務経験教員の経歴	ドッグトレーナーとして約1年間トリミングサロンにて勤務

科目名	動物飼育実習Ⅰ				
担当教員	佐山　恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	実習前座学：実習前に必要な知識を伝え、なぜ行うのか理由から方法を覚えられるようにする 実習：座学で得た知識を実践する。到達目標を細かく刻み、自信を持ってもらう。 掃除においてはインターンシップと基本となる項目。 動物を触るだけが、仕事ではないため、率先して動ける人材へ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	個体別の生活様式から正常と異常を見極め、適正な動物飼育を身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動物看護実習テキスト				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	アレルギー調査、実習スタイルについて、飼育室の出入り方法	教員が見本となる、実習室への見学
2	消毒や手洗いの実施について、犬について（PD、テキスト）	理由を明確に伝え納得させる、犬の触れ合い
3	猫について（PD、テキスト）、管理帳の記入の仕方について	管理帳見本を配布し記入させる、猫の触れ合い
4	小動物（ウサギ、モルモット、ハムスター）について	自作プリントを配布、小動物の触れ合い
5	飼育室の見学（物の配置確認）、掃除の仕方、洗濯方法	先輩に指導を受ける、メモをとる
6	病気の予防や診察について、日誌の書き方	日誌を実際に書いてもらう
7	実習前の総確認、小テスト	実習に必要な技術を見直す
8	フィードバック	覚え直し
9	（実習）犬の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ
10	（実習）猫の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（猫）への接触方法、管理方法を学ぶ
11	（実習）ウサギの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（ウサギ）への接触方法、管理方法を学ぶ
12	（実習）モルモットの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（モルモット）への接触方法、管理方法を学ぶ
13	（実習）ハムスターの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（ハムスター）への接触方法、管理方法を学ぶ
14	（実習）犬の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ
15	期末試験（筆記）	正しい知識を覚えているか
16	フィードバック	間違えたままにせず、確認を行う
17	（実習）犬の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ
18	（実習）猫の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（猫）への接触方法、管理方法を学ぶ
19	（実習）ウサギの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（ウサギ）への接触方法、管理方法を学ぶ
20	（実習）モルモットの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（モルモット）への接触方法、管理方法を学ぶ
21	（実習）ハムスターの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（ハムスター）への接触方法、管理方法を学ぶ
22	（実習）犬の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ
23	（実習）猫の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（猫）への接触方法、管理方法を学ぶ
24	（実習）ウサギの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（ウサギ）への接触方法、管理方法を学ぶ
25	（実習）モルモットの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（モルモット）への接触方法、管理方法を学ぶ
26	（実習）ハムスターの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（ハムスター）への接触方法、管理方法を学ぶ
27	（実習）犬の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ
28	（実習）猫の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（猫）への接触方法、管理方法を学ぶ
29	（実習）ウサギの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（ウサギ）への接触方法、管理方法を学ぶ
30	（実習）モルモットの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（モルモット）への接触方法、管理方法を学ぶ
31	期末試験（筆記）	正しい知識を覚えているか
32	フィードバック	間違えたままにせず、確認を行う

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	飼育経験のない動物もいることから、接触方法や飼育管理方法の違いについて習得し、実践する。苦手意識が出ないよう、わからないことをそのままにせず先輩や先生に質問し、自信をつけていく。

実務経験教員の経歴	動物看護師として動物病院勤務

科目名	動物飼育実践Ⅰ				
担当教員	新潟市動物ふれあいセンター	実務授業の有無	○		
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	新潟市動物ふれあいセンターで現場スタッフの一員として展示動物と譲渡対象動物の飼育管理方法を学ぶ。また、お客様への応対を学ぶ。 1人あたり：90分×1コマ座学＋実習180分×2コマ実習 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	展示動物、譲渡対象動物の飼育管理や展示の仕方を知ることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	新潟市動物ふれあいセンターについてセンター長より講義	WaNにて座学
2	新潟市動物ふれあいセンターでの実習（うさぎ・モルモット）	現場での飼育管理実習
3	新潟市動物ふれあいセンターでの実習（アルパカ、羊・山羊）	現場での飼育管理実習
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	回数が限られた現場での実習なので欠席をすることがないようにする。

実務経験教員の経歴	新潟市動物ふれあいセンターへ委託

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	解剖・生理学				
担当教員	山下　静香		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物の体の基本構造やはたらきをまず理解した上で、各組織での検査や代表的な疾患を把握する 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	●動物の体のしくみやはたらきを理解することができる ●各組織における検査の種類や手技、代表的な疾患を把握し、ケアすることができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	緑書房　ビジュアルで学ぶ　動物看護学[第2版]、緑書房　ビジュアルで学ぶ　伴侶動物解剖生理学				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	授業概要、体の基本構造について	伴侶動物解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み
2	外皮系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み
3	運動器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み
4	神経系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み
5	感覚器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み
6	感覚器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み
7	循環器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み
8	循環器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み
9	呼吸器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み
10	上部消化器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み
11	下部消化器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み
12	泌尿器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み
13	内分泌系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み
14	生殖器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み
15	期末試験	
16	期末試験の振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	動物病院での実習や勤務を想定し、動物の体の基本構造から検査や疾病、看護師としての仕事も併せて履修する。 解剖生理学は難しい分野ととらわれがちなので、現場での経験などを踏まえながら、より身近に感じられるように意識する。

実務経験教員の経歴	動物看護師として約4年勤務

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物栄養学Ⅰ				
担当教員	川口　和清		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物の健康維持に必要な栄養素を学び、その基礎知識を活用して各論の学習に進む準備のため、まずはイヌとネコの六大栄養素についての知識を、動物の生理学に立脚した栄養学を総論として学び、様々なペットフードやパンフレットに記載されている専門用語を理解し、飼い主に適切な栄養相談および指導を行う際の基礎知識を習得する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	栄養学総論に基づいて、注意すべき食材を知り、必要エネルギー量の指導ができ、イヌとネコに必要な栄養素の違いが説明でき、ライフステージ別の栄養指導ができることを目的として学習する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	（株）インターズー発行　ビジュアルで学ぶ動物看護学				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物栄養学総論	テキスト、資料を使用
2	基礎栄養学	小テストの実施、テキスト、資料を使用
3	基礎栄養素 水、タンパク質①	小テストの実施、テキスト、資料を使用
4	基礎栄養素 タンパク質②	小テストの実施、テキスト、資料を使用
5	基礎栄養素 炭水化物、脂肪	小テストの実施、テキスト、資料を使用
6	基礎栄養素 ミネラル、ビタミン	小テストの実施、テキスト、資料を使用
7	イヌとネコの栄養要求の違い①	小テストの実施、テキスト、資料を使用
8	イヌとネコの栄養要求の違い② ライフステージ別の栄養管理①	小テストの実施、テキスト、資料を使用
9	ライフステージ別の栄養管理②	小テストの実施、テキスト、資料を使用
10	ライフステージ別の栄養管理③	小テストの実施、テキスト、資料を使用
11	ライフステージ別の栄養管理④	小テストの実施、テキスト、資料を使用
12	ライフステージ別の栄養管理⑤ ペットフードの表示の見方①	小テストの実施、テキスト、資料を使用
13	ペットフードの表示の見方② BCS評価とカロリー計算の仕方①	小テストの実施、テキスト、資料を使用
14	BCS評価とカロリー計算の仕方②	小テストの実施、テキスト、資料を使用
15	ペットフードの種類	小テストの実施、テキスト、資料を使用
16	まとめ	まとめ
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	解剖生理の復習、小テストを実施し、理解度を確認する。

実務経験教員の経歴	ペットフードメーカーにて企画開発・営業等に携わった

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	公衆衛生学				
担当教員	東海林　愛美		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	各種微生物の基礎知識の習得、及び消毒・滅菌について理解をし、感染症についての知識を身につける 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	各種微生物の基礎知識の習得、及び消毒・滅菌について理解をし、感染症についての知識を身につける。また、ワクチンについて飼い主に説明できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ビジュアルで学ぶ動物看護学				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	公衆衛生学を学ぶ意義 感染とは	テキスト、資料の使用
2	微生物 微生物とは、原虫	テキスト、資料の使用
3	微生物 真菌、細菌、ウイルス、プリオン	テキスト、資料の使用
4	洗浄、消毒と滅菌（洗浄・消毒・滅菌の違いとその特徴）	テキスト、資料、消毒薬見本の使用
5	洗浄、消毒と滅菌（消毒・滅菌の方法と使い分け）	テキスト、資料、消毒薬見本の使用
6	免疫学 免疫機構、抗原と抗体、免疫性疾患、アレルギー	テキスト、資料の使用
7	免疫学（ワクチンの種類／ワクチンで予防できる感染症／ワクチン接種プログラムと副反応）	テキスト、資料の使用
8	感染症 ウイルス①（犬の病気）	テキスト、資料の使用
9	感染症 ウイルス②（猫の病気）	テキスト、資料の使用
10	感染症 細菌、真菌、寄生虫①（外部寄生虫）	テキスト、資料の使用
11	感染症 寄生虫②（内部寄生虫）	テキスト、資料の使用
12	感染症 寄生虫③（内部寄生虫）	テキスト、資料の使用
13	人獣共通感染症①	テキスト、資料の使用
14	人獣共通感染症②	テキスト、資料の使用
15	期末試験	
16	公衆衛生学まとめ	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	小テストを実施しながら理解度を確認する

実務経験教員の経歴	動物病院にて、動物看護師として13年実務経験

科目名	動物看護概論Ⅰ				
	秋元　彩子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物病院での診療補助の概要を学び、生態を取り扱う業種において日常の健康チェックとケアの知識を習得する。				
学習目標（到達目標）	動物の健康チェック項目、ケアの基本的な道具と方法について習得する。 動物病院での基礎的な知識を身に付け、病院に限らず、ショップ等の店舗はもちろん飼い主対応にも役立てられる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス発刊　動物看護実習テキスト				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物病院業務について 動物を看護するということ	パワーポイント資料
2	動物の保定	パワーポイント資料、ぬいぐるみ
3	動物の保定	パワーポイント資料、ぬいぐるみ
4	身体検査とバイタルチェック	ぬいぐるみ、聴診器、体温計
5	身体検査とバイタルチェック	ぬいぐるみ、聴診器、体温計
6	消毒	消毒液、雑巾
7	消毒	消毒液、雑巾
8	シリンジの扱い方/投薬方法	シリンジ
9	シリンジの扱い方/投薬方法	シリンジ
10	シリンジの扱い方/投薬方法	シリンジ
11	投薬/点眼/点耳/エリザベスカラーの装着	ぬいぐるみ、投与薬
12	投薬/点眼/点耳/エリザベスカラーの装着	ぬいぐるみ、投与薬
13	デンタルケア	歯ブラシ、ガーゼ、ぬいぐるみ、歯科模型
14	デンタルケア	歯ブラシ、ガーゼ、ぬいぐるみ、歯科模型
15	まとめ	
16	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	動物病院への就職も視野へ入れて幅広く知識を身につ行ける

実務経験教員の経歴	動物看護師として、動物病院にて実務経験あり

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	グルーミング理論				
担当教員	矢澤千恵子		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	グルーミング実習を行う上でのグルーミングの目的、流れ、道具名、使用方法を学ぶ。 グルーミングを行う上での注意点を理解する。また、犬種についての知識も学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	犬種への理解を深め、犬種ごとに必要なグルーミング方法を選択できるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	インターズー　ドッグ・グルーマーズ　プロフェッショナル・ワークブック インターズー　最新犬種図鑑				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	グルーミングの目的、トリマーの心構えについて	
2	シャンプー剤の知識、グルーミングの流れ・注意点①	
3	グルーミングの流れ・注意点②、道具の使い方	
4	スタンダードの理解、体表の生理	
5	犬種について　1G、2G、3G	各グループの中の代表犬種について学ぶ
6	犬種について　4G、5G、6G	
7	犬種について　7G、8G、9G、１0G	
8	期末試験	
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	グルーミング実習				
担当教員	広川　美紀		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物のプロとして必要な日頃のケアについて学ぶ。グルーミングの流れ、注意点について学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	グルーミングの流れを理解し、道具を正しく使い、グルーミングが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	グルーミングの目的、流れ、注意点について 道具の名称、使い方について	
2	グルーミングデモンストレーション	実際のグルーミングを見て、犬の扱い方を学ぶ
3	グルーミング実習（実践）チワワ等	
4	グルーミング実習（実践）パグ等	
5	グルーミング実習（実践）ポメラニアン等	
6	グルーミング実習（実践）プードル等	
7	グルーミング実習（実践）シュナウザー等	
8	グルーミング実習（実践）チワワ等	
9	グルーミング実習（実践）パグ等	
10	グルーミング実習（実践）ポメラニアン等	
11	グルーミング実習（実践）プードル等	
12	グルーミング実習（実践）	
13	グルーミング実習（実践）	
14	グルーミング実習（実践）	
15	グルーミング実習（実践）	
	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師兼トリマー　10年、独立サロン経営　18年

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	心理学				
担当教員	倉田　純子		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	人間の行動を起こすための仕組みを理解する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	人間の心の働きを学び、人間関係を良好に築けるように心構えができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	心理学の歩み①	プリント
2	心理学の歩み②	プリント
3	心理学の歩み③	プリント
4	脳の仕組みと働き、学習と本能	プリント
5	記憶の仕組み、感情と欲求	プリント
6	発達心理学	プリント
7	集団とのかかわり	プリント
8	期末試験	
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	期末試験前にまとめプリントを配布するが、日々の授業プリントがないと解答できないように作成されているため、授業は全て出席するようにする。

実務経験教員の経歴	

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	カウンセリング話法				
担当教員	倉田　純子		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	人間の行動を起こすための仕組みを理解する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	人間の心の働きを学び、人間関係を良好に築けるように心構えができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	なぜカウンセリングを学ぶのか、自己意識	プリント
2	自己開示、自己呈示	プリント
3	自分の話し方、聴き方①	プリント
4	自分の話し方、聴き方②	プリント
5	自分の話し方、聴き方③	プリント
6	受容、共感、自己一致①	プリント
7	受容、共感、自己一致②	プリント
8	期末試験	
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	期末試験前にまとめプリントを配布するが、日々の授業プリントがないと解答できないように作成されているため、授業は全て出席するようにする。

実務経験教員の経歴	

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物園学概論				
担当教員	成島　悦雄		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	24
授業概要、目的、授業の進め方	動物園とは何かを学び、動物園の未来について考える 展示動物の福祉について学び考える 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	動物園の社会的存在意義を理解できる 動物園で飼育管理されている動物の生態と管理方法がわかる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナル教材				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物コレクション起源、古代・中世ヨーロッパの動物コレクション	座学
2	近世ヨーロッパのメナジェリー	座学
3	近代動物園の誕生	座学
4	アメリカと日本の動物園	座学
5	動物の分類	座学
6	博物館としての動物園・水族館	座学
7	期末試験	
8	動物園の社会的存在意義	座学
9	特別講義	座学
10	特別講義	座学
11	特別講義	座学
12		
13		
14		
15		
16		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	日本動物園水族館協会元理事

2023年度　　国際ペットワールド専門学

科目名	コミュニケーション概論Ⅰ				
担当教員	竹石　拓矢		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	1	開講時期	
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	
授業概要、目的、授業の進め方	コミュニケーションの持つ力を理解しコミュニケーション能力の礎とする				
学習目標（到達目標）	場面に応じたコミュニケーションについてロールプレイングで実践し体現できるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・
1	”コミュニケーション”を考える①　コミュニケーションゲーム	3種類のゲームを通して、言語、非言語コンについて特性を捉える
2	”コミュニケーション”を考える②AIDMAの法則の実践	
3	オンライン上のコミュニケーション	
4	傾聴の実践②　組織としてのコミュニケーション	
5	”コミュニケーション”を考える③　傾聴	
6	敬語、丁寧語	敬語についてプリントで学習。小テストも
7	プレゼンテーションの準備	県外研修で見聞した事についてまとめる
8	プレゼンテーションの準備	
9	プレゼンテーションの準備	
10	プレゼンテーション①	
11	プレゼンテーション②	
12	プレゼンテーション③	
13	発声、活舌を良くするための練習①	表情筋、口角をあげるための練習（Youtu ら）
14	発声、活舌を良くするための練習②	表情筋、口角をあげるための練習（Youtu ら）
15	他者を惹きつけるジェスチャー、身振り	
16	期末試験	

17	抑揚のある話し方	
18	会話を広げるユーモア①	
19	会話を広げるユーモア②	
20	傾聴実践①	
21	傾聴実践②	
22	聴く力、質問力を身に付ける①	
23	聴く力、質問力を身に付ける②	
24	電話応対	
25	クレーム対応（謝り方）	
26	他者を惹きつける会話～まとめ～	
27	動画を使ったプレゼンテーションの準備①	
28	動画を使ったプレゼンテーションの準備②	
29	動画を使ったプレゼンテーションの準備③	
30	【期末試験】プレゼンテーション	
31	【期末試験】プレゼンテーション	
32	振り返り授業	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	ドッグトレーナーとして約1年間トリミングサロンにて勤務

学校　シラバス

通年
64
備考
ミュニケーショ
も実施
ubeを視聴しなが
ubeを視聴しなが

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	コミュニケーション実践Ⅱ				
担当教員	竹石　拓矢		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	前半はプレゼンテーションを行うことで、人前に立って話す力を養い、またその話を聞いてコメントを言える力を養う。 後半は求職登録面接やインターンシップに向けて、どのような手順で作成をしていくかを学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	求職登録面接、就職研修、インターンシップを通して、翌年の就職活動を意識することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	プレゼンテーション説明、準備	プリント、個別作業
2	求職登録面接とは何か、求職票作成の仕方、インターンシップとは何か、インターンシップ申込書作成の仕方	プリント
3	求職登録面接とは何か、求職票作成の仕方、インターンシップとは何か、インターンシップ申込書作成の仕方	プリント
4	求職票作成、自己PR作成、面接練習	
5	求職票作成、自己PR作成、面接練習	
6	求職票作成、自己PR作成、面接練習	
7	求職票作成、自己PR作成、面接練習	
8	求職票作成、自己PR作成、面接練習	
9	インターンシップ日誌の作成の仕方、身だしなみについて	プリント
10	インターンシップ日誌の作成の仕方、身だしなみについて	プリント
11	インターンシップ履歴書作成の仕方	プリント
12	インターンシップ履歴書作成の仕方	プリント
13	履歴書作成、志望動機作成	
14	履歴書作成、志望動機作成	
15	履歴書作成、志望動機作成	
16	就職研修	インターンシップに向けての心構えと問題事例、また今後の就職活動に向けての心構えを学ぶ

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	書類作成や面接練習をすることもあるので、毎回授業に出席し、提出物などの遅れがないようにする。面接練習は必ず事前に準備をしておくこと。

実務経験教員の経歴	

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	就職実務Ⅱ				
担当教員	竹石　拓矢		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかり理解した上で就職活動を進めていく。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	春のインターンシップの反省を行い、改善し、次のインターンシップに臨むことができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動画で学ぶ　就活ナビ				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	これからどう生きていくか、一生でどのくらい稼げるのか、どんな生活を送りたいか、社会はどんな人材を求めているのか	プリント
2	チャンスを逃がさない、働く理由を考える	プリント
3	伝わる文章の書き方、相手を納得させる論理力、構成を考える	プリント
4	伝わる文章の書き方、相手を納得させる論理力、構成を考える	プリント
5	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる	プリント
6	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる	プリント
7	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる	個人作業
8	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる	個人作業
9	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる	個人作業
10	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる	個人作業
11	業界について考える、職種について考える	プリント
12	企業研究の仕方、志望動機の書き方	プリント
13	企業研究の仕方、志望動機の書き方	プリント
14	企業研究の仕方、志望動機の書き方	プリント
15	企業研究の仕方、志望動機の書き方	個人作業
16	企業研究の仕方、志望動機の書き方	個人作業

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	個別面談を行うこともあるので、毎回授業に出席すること。インターンシップ関係の提出物などの遅れがないようにすること。

実務経験教員の経歴	

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	コンピュータ実習Ⅱ				
担当教員	古俣　秀子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	Excelの理解を深め、自信をもって活用できる基本技能を身につける 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	Excel表計算処理技能認定試験　３級　取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Excel2016 クイックマスター 基本編				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	新規フォルダー作成・ファイルコピー Chapter1 Excelの基本　Chapter2 データの編集	画面構成、用語の確認 範囲選択　文字の入力、数値の入力
2	Chapter2 データの編集 ●問題集 練習問題1【問題2】(1)～(3)	日付の入力、オートフィル、数式、合計関数、相対参照・絶対参照、コピー・移動
3	Chapter3 表の編集 ●問題集 練習問題2【問題2】(1)～(3)	セルの書式設定、表示形式
4	Chapter7 関数	基本関数の意味と使い方（平均、最大、最少、データの個数、順位）
5	Chapter8 データベース機能 ●問題集 練習問題1【問題2】(4)～(6)、【問題3】	並べ替え、フィルター
6	●問題集 練習問題2【問題2】(4)～(6)、【問題3】 Chapter5 グラフと図形の作成　Chapter6 ブックの利用と管理	グラフ作成・編集、ワークシート名の変更、シートコピー
7	Chapter4 ブックの印刷 ●問題集 練習問題1 完成	ページ設定、グラフ作成・編集の基本、スパークライン
8	●練習問題２～3	解説誘導しながら 答案解答作成
9	●練習問題4～5	各人のペースで解答 巡回してチェック・ポイント解説
10	●練習問題6～7	〃
11	●練習問題8～9	〃
12	●練習問題10、模擬問題2	〃
13	●模擬問題3～4	〃
14	●模擬問題5～6	〃
15	●試験実施プログラム 模擬問題1	前問題振り返り 時間計測して実施、解答ファイル採点
16	検定	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	パソコンスキルはどの業界へ就職しても必須となります。パソコンの基本的な操作の仕方、表計算やデータを利用した簡単な資料作成の方法をしっかりマスターしましょう。授業中に分からない事や上手く出来なかった事は休み時間を利用して練習をしましょう。

実務経験教員の経歴	一般向けパソコン教室において20年以上関わっていた

2023年度　　国際ペットワールド専門学

科目名	コミュニケーション概論				
担当教員	竹石　拓矢		実務授業の有無	○	
対象学科	飼育2	対象学年	2	開講時期	
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	
授業概要、目的、授業の進め方	コミュニケーションの持つ力を理解しコミュニケーション能力の礎とする				
学習目標（到達目標）	場面に応じたコミュニケーションについてロールプレイングで実践し体現できるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・
1	”コミュニケーション”を考える①　コミュニケーションゲーム	3種類のゲームを通して、言語、非言語コンについて特性を捉える
2	”コミュニケーション”を考える②AIDMAの法則の実践	
3	オンライン上のコミュニケーション	
4	傾聴の実践②　組織としてのコミュニケーション	
5	”コミュニケーション”を考える③　傾聴	
6	敬語、丁寧語	敬語についてプリントで学習。小テストも
7	プレゼンテーションの準備	県外研修で見聞した事についてまとめる
8	プレゼンテーションの準備	
9	プレゼンテーションの準備	
10	プレゼンテーション①	
11	プレゼンテーション②	
12	プレゼンテーション③	
13	発声、活舌を良くするための練習①	表情筋、口角をあげるための練習（Youtu ら）
14	発声、活舌を良くするための練習②	表情筋、口角をあげるための練習（Youtu ら）
15	他者を惹きつけるジェスチャー、身振り	
16	期末試験	

17	抑揚のある話し方	
18	会話を広げるユーモア①	
19	会話を広げるユーモア②	
20	傾聴実践①	
21	傾聴実践②	
22	聴く力、質問力を身に付ける①	
23	聴く力、質問力を身に付ける②	
24	電話応対	
25	クレーム対応（謝り方）	
26	他者を惹きつける会話～まとめ～	
27	動画を使ったプレゼンテーションの準備①	
28	動画を使ったプレゼンテーションの準備②	
29	動画を使ったプレゼンテーションの準備③	
30	【期末試験】プレゼンテーション	
31	【期末試験】プレゼンテーション	
32	振り返り授業	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	ドッグトレーナーとして約1年間トリミングサロンにて勤務

学校　シラバス

通年
64時間
備考
ミュニケーショ
も実施
ubeを視聴しなが
ubeを視聴しなが

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	AAA概論Ⅱ				
担当教員	山﨑　恵子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	6	時間数	96
授業概要、目的、授業の進め方	動物介在活動と動物介在療法を理解することができる。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	一般社団法人アニマル・リテラシー総研が提示するプログラム課程を理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	一般社団アニマル・リテラシー総研 動物介在介入(AAI)の基礎知識_失敗しない活動のために				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	AAA/AATとは	P1-8
2	癒しとは	P9-10
3	AAIリスク管理	P11-13
4	AAIリスク管理	P11-13
5	AAIの歴史	P14-17
6	AAIの歴史	P14-17
7	AAIが活用されている場所　高齢者	P18-21
8	AAIが活用されている場所　こども	P22-23
9	AAIが活用されている場所　精神科	P24
10	AAIが活用されている場所　ホスピス・緩和ケア	P25-26
11	動物の適性①	P27-28
12	動物の適性②	P27-28
13	ボランティアの適性①	P29-30
14	ボランティアの適性②	P29-30
15	期末試験	
16	施設評価①	P31
17	施設評価②	P31
18	AAIの実施者①	P34-36
19	AAIの実施者②	P34-36
20	終末医療と飼い主対応	特別講義
21	シェルターワーク・シェルターメディシン	特別講義
22	プレゼンテーション①	
23	期末試験	
24	プレゼンテーション②	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	全ての授業に出席すること。

実務経験教員の経歴	動物業界団体に長期に渡りかかわる

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	AAA実習Ⅱ				
担当教員	青木　和孝		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係と心理学的および社会学的側面から理解し、実際の高齢者施設へ動物達を連れて訪問する 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	安心、安全な訪問活動を心掛け、高齢者のQOL向上の1つとして訪問活動を実施できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	職員作成パワポ資料				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	訪問活動に向けて事前授業	パワポ資料
2	訪問活動に向けて事前授業	パワポ資料
3	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
4	サイトアセスメント	施設への事前確認を見学
5	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
6	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
7	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
8	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
9	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
10	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
11	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
12	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
13	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
14	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
15	期末試験	
16	期末試験の振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	参加動物の参加の可否の判断を含め適切に対応できるよう状態把握のための観察力を身につける。それを元に動物の行動管理を適切に行い、施設対象者に対しても適切にコミュニケーションが取れるスキルを身につける。

実務経験教員の経歴	愛玩動物看護師として現在も勤務中

科目名	AAA実践Ⅰ				
担当教員	山下　静香		実務授業の有無	○	
対象学科	飼育	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	訪問活動で必要となる「伝える力」を意識し、クラスメイトとのチームコミュニケーションを身につけ、自分自身がAAA実習を楽しんで参加できるように事前学習を行う。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	自分自身も動物も、楽しく前向きに活動に参加することができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	[参考図書] 中央法規　認知症の人とのコミュニケーション、教員作成資料				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	授業概要の説明、伝えることの難しさ	配布プリントにて書き込み
2	認知症の人とのコミュニケーション	配布プリントにて書き込み
3	認知症の人とのコミュニケーション	配布プリントにて書き込み
4	認知症の人とのコミュニケーション	配布プリントにて書き込み
5	認知症の人とのコミュニケーション	配布プリントにて書き込み
6	伝達トレーニング	ゲーム形式で体感
7	伝達トレーニング	ゲーム形式で体感
8	WaNファミリーのプロフィール確認	配布プリントにて書き込み
9	紹介カードの作成	
10	紹介カードの作成	
11	紹介カードの作成	
12	紹介カードの作成	
13	AAA実習の持ち物を確認	配布プリントにて書き込み
14	AAA実習の持ち物を確認	配布プリントにて書き込み
15	期末試験	
16	期末試験の振り返り	
17	AAAについての復習	
18	コミュニケーションスキルの向上	
19	コミュニケーションスキルの向上	
20	コミュニケーションスキルの向上	
21	コミュニケーションスキルの向上	
22	コミュニケーションスキルの向上	
23	AAAのシミュレーション	
24	AAAのシミュレーション	
25	AAAのシミュレーション	
26	AAAのシミュレーション	
27	AAAのシミュレーション	
28	紹介カードの作成	
29	紹介カードの作成	
30	紹介カードの作成	
31	期末試験	
32	試験返却・解説	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	学生自身が自信を持って前向きに訪問活動に参加ができるように、事前授業を行う。特に認知症の高齢者の方への話し方は工夫が必要なので、高齢者の方とのコミュニケーションの取り方を実際に体感して、訪問活動にすぐに役立てるようにする。

実務経験教員の経歴	動物看護師としても訪問活動に参加経験あり

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	AAA特論Ⅰ				
担当教員	坂田　光子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	人と動物の絆（HAB）の理念と動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育など社会活動を理解し、人と動物の共生に寄与する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	動物介在活動と動物介在療法を理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウイネット出版　アニマルセラピー実践				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	AAA、AAT、癒し効果	P5-18
2	AAA、AATコーディネーターとは	P19-34
3	施設評価の必要性	P35-68
4	AAA、AAT参加動物適性評価①	P69-132
5	AAA、AAT参加動物適性評価②	P69-132
6	ボランティアの教育①	P133-148
7	期末試験	
8	ボランティアの教育②	P133-148
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	これからAAA実習に参加をしていくための事前準備の授業なので、毎回授業に出席すること。

実務経験教員の経歴	動物病院マネージャー

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	エキゾチックアニマルⅡ				
担当教員	富取　拓夢		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	ペットショップで販売されているエキゾチックアニマルについて学ぶ。 飼い主に飼育方法をアドバイスできようようになる。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	各生体の品種、習性、繁殖、病気について理解し、アドバイスが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	エキゾチックアニマルとは 環境エンリッチメント	
2	ハムスター品種・特長 ジャンガリアン、キャンベル見分け	
3	ハムスター　習性、繁殖、飼育方法	
4	ハムスター　臨床、疾病	
5	ウサギ　品種、特徴 ドワーフ遺伝子の問題点	
6	ウサギ　習性、繁殖、飼育方法	
7	ウサギ　臨床、疾病	
8	モルモット　品種・特長、生態・習性	
9	モルモット　繁殖、飼育方法	
10	モルモット　臨床、疾病	
11	フェレット　生態・習性 ファーム繁殖の現状	
12	フェレット　繁殖、飼育方法	
13	フェレット　臨床、疾病	
14	テスト+(解説)	
15	（解説）	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	ペットショップにて勤務

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物の病気				
担当教員	東海林　愛美		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	犬と猫の病気全般の機序、症状、検査あるいは治療等について理解する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	犬と猫の病気全般の機序、症状、検査あるいは治療等について理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	緑書房　ビジュアルで学ぶ動物看護学				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	フィラリア感染症	テキスト使用、その他資料配布、フィラリア模型
2	先天性心疾患、後天性心疾患 血管の疾患	テキスト使用、その他資料配布
3	関節疾患、骨折	テキスト使用、その他資料配布、DVD観賞
4	気管・気管支疾患、肺疾患、 呼吸異常	テキスト使用、その他資料配布
5	口腔疾患 胃腸疾患	テキスト使用、その他資料配布
6	肝臓・膵臓疾患	テキスト使用、その他資料配布
7	中間試験 腎臓疾患	テキスト使用、その他資料配布、前半までのまとめテスト
8	膀胱炎 尿石症	テキスト使用、その他資料配布
9	甲状腺、副腎	テキスト使用、その他資料配布
10	糖尿病	テキスト使用、その他資料配布
11	脳 脊髄	テキスト使用、その他資料配布、DVD観賞
12	耳の疾患 眼の疾患	テキスト使用、その他資料配布
13	子宮、卵巣、異常分娩 精巣、前立腺	テキスト使用、その他資料配布
14	皮疹 皮膚炎	テキスト使用、その他資料配布
15	腫瘍（乳腺、皮膚）	テキスト使用、その他資料配布

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	解剖生理の復習、中間試験を実施し、理解度の確認をしながら進める。

実務経験教員の経歴	

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物看護実践Ⅱ				
	秋元　彩子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	動物病院での業務として、診療補助、一般的な検査業務、受付業務を学ぶ				
学習目標（到達目標）	動物病院で行う、診察・検査・処置の意味や目的を理解し、補助・準備ができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動物看護実習テキスト(インターズー)				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	模擬診察	実習（受付から会計まで）
2	血液検査、尿検査、便検査①：概要と手技の説明	顕微鏡
3	血液検査、尿検査、便検査②：検体と血液検査機器の取り扱い	顕微鏡、血液
4	血液検査、尿検査、便検査③：検体と顕微鏡の取り扱い	顕微鏡、血液
5	手術準備と器具の取り扱い	手術器具、術衣
6	X線検査と心電図検査：概要と検査手技および機器の操作	心電図、レントゲン防護衣
7	模擬診察	実習（受付から会計まで）
8	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	1年次に動物看護実践Ⅰを履修し、基本的な動物病院業務について学んでいる必要がある。

実務経験教員の経歴	動物病院にて9年間の実務経験あり

科目名	動物看護概論Ⅱ				
	東海林　愛美		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	動物病院での業務として、診療補助、一般的な検査業務、受付業務を学ぶ				
学習目標（到達目標）	動物病院で行う、診察・検査・処置の意味や目的を理解し、補助・準備ができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動物看護実習テキスト(インターズー)				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	保定と一般身体検査、健康チェック	
2	採血準備と採血時の保定	実習（採血準備）
3	シリンジの取り扱い、静脈点滴、輸液ポンプの操作	実習（静脈点滴の仕組み、シリンジと輸液ポンプの取り扱い）
4	手術助手としての動き方、手術器具の種類と扱い方	実習（術衣の着方、器具の取り扱い）
5	救急時の対応	実習（気管挿管の準備、心臓マッサージ）
6	調剤業務	実習（分包機の使い方、薬剤の分割と粉末化）
7	特別療法食と給餌方法	実習（療法食、強制給餌、チューブフィーディング）
8	動物病院での接遇、カルテ用語	実習（受付での問診、カルテ用語）

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	1年次に動物看護実践Ⅰを履修し、基本的な動物病院業務について学んでいる必要がある。

実務経験教員の経歴	動物病院にて13年間の実務経験あり

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	ドッグトレーニング実習Ⅰ				
担当教員	佐藤　大輝		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	○犬の接点から観察、基礎ハンドリングまで行い就職後お客様や患者様の愛犬を扱う際に備える ○飼い主様が犬と豊かに過ごせるための必要になる道具を使い方含めて経験し必要性を伝える技術を磨く 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	就職時に役立つ犬の基礎ハンドリングと接客含めたコミュニケーション培う事が出来る。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	愛玩飼養管理士２級教本、セルフコーチング、犬のしつけきちんとブック				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
2	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
3	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
4	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
5	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
6	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
7	実技テストとスピーチテスト	実行したしつけの確認とスピーチ発表
8	テストのフォローバック	テストの内容の補足、解説
9	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
10	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
11	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
12	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
13	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
14	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
15	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
16	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
17	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
18	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
19	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
20	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
21	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
22	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
23	実技テストとプレゼンテスト	実行したしつけの確認と道具を使用したプレゼンを撮影
24	テストのフォローバック	テストの内容の補足、解説

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	犬が参加するので人、犬に対してケガが無いような接点を実行する。道具や物資を使用しているので破損に気を付ける。

実務経験教員の経歴	ドッグトレーナーとして１０年活動

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	ドッグトレーニング実習Ⅱ				
担当教員	長谷川　あや甫		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	学校の犬で基礎的なトレーニングを行い、トレーニングを通して犬へのアプローチを学ぶ。 トレーニングに関する知識習得と、実際のハンドリングを授業内で行う。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	基本的なトレーニングを通して犬とのコミュニケーションが図れるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	無し				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	犬の観察、学校の犬の情報把握、アイコンタクト、誘導、マッテ	
2	アイコンタクト、誘導、待って	
3	マグネットで歩く、アテンションヒーリング	
4	マグネットで歩く、アテンションヒーリング	
5	誘導でオスワリとフセ、待って、おいで	
6	誘導でオスワリとフセ、待って、おいで	
7	マグネット＆アイコンタクト→アテンションヒーリング、おいで、イスの下をくぐる	
8	マグネット＆アイコンタクト→アテンションヒーリング、おいで、イスの下をくぐる	
9	アラウンド、足を後ろから跳ぶ、足とび	
10	アラウンド、足を後ろから跳ぶ、足とび	
11	アラウンド、足を後ろから跳ぶ、足とび	
12	アラウンド、足を後ろから跳ぶ、足とび 訪問活動の際に「人に近づいていく方法を考える」	
13	実技試験について	
14	それぞれの犬に合わせたトレーニング実施（マグネットでオスワリ、フセ→足の下をくぐらせる、足の上に乗せる、手にアゴを乗せる→	
15	実技試験実施	
16	実技試験解説	
17	それぞれの犬に合わせたトレーニング実施（アイコンタクト→誘導、顔の横に手を出す、鼻を手の輪の中に入れる→ジェントルやケア練習	
18	それぞれの犬に合わせたトレーニング実施（アイコンタクト→誘導、顔の横、時間を伸ばす、８の字で歩く、アイコンタクト→ハンドラー	
19	それぞれの犬に合わせたトレーニング実施（アイコンタクト、おすわりまってOK、ふせまってOK、8の字、手の輪に鼻先を入れる：両方	
20	社会化のコース、脱感作＆拮抗条件付けについて	
21	それぞれの犬に合わせたトレーニング実施（手を背中に隠してアイコンタクト：３秒以上、8の字で歩く、手の輪っかに鼻先を入れるor	
22	それぞれの犬に合わせたトレーニング実施（手を背中に隠してアイコンタクト：３秒以上、8の字で歩く、手の輪っかに鼻先を入れるor	
23	各グループゲームの原案発表。 ヒールポジション	
24	ゲームのシミュレーション、スプーンリレー	
25	ゲーム発表＆実践	
26	ゲーム発表＆実践、サンダーシャツについて	
27	ヒールポジション、サイドポジションについてとその練習	ヒールポジション、サイドポジション、正面から手のひらを使って一回転
28	警戒吠えについてとその対処法、おいで：正面に来る、ハンドラーが後ろに下がって呼び込む、短い距離＆ロングリード使用	
29	テスト内容について、ノーズワーク（高さ、箱を重ねる、箱の中など）	
30	テスト実施	
31	実技試験	
32	実技試験解説	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
実技試験100％ 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	しつけインストラクターとして25年以上活動

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物飼育実習Ⅱ				
担当教員	佐山　恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	1、動物種ごとの適切な食事や環境を提供できるようになる 2、犬の飼育に必要な接し方・ハンドリング・ケア方法を実践できるようになる 3、猫・小動物の飼育に必要な接し方・ケアの方法を実践できるようになる 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	正常な動物を知り、動物種ごとに適した飼育管理を実践できるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
2	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
3	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
4	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
5	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
6	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
7	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
8	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
9	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
10	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
11	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
12	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
13	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
14	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
15	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
16	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
17	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
18	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
19	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
20	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
21	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
22	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
23	期末試験	筆記と実技の試験
24	ウサギの飼育管理の実習・フィードバック	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
25	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
26	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
27	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
28	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
29	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
30	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
31	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
32	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
33	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
34	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
35	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
36	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
37	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
38	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
39	期末試験	筆記と実技の試験
40	モルモットの飼育管理の実習・フィードバック	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	1年生で学んだことを使用し環境を整えるだけなく、散歩など動物を飼育するために必要なハンドリングやブラッシング技術の習得も目指す。

実務経験教員の経歴	動物看護師として6年弱、動物病院に勤務していた

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	グルーミング実践				
担当教員	広川　美紀		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	2人で小型犬のシャンプーが30分、トータル90分で終了出来るように学ぶ。 また、個体に合ったシャンプー剤や作業が出来るようになる。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	2人で小型犬のシャンプーが30分、トータル90分で終了出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	座学/合同　実習の流れ+犬の攻撃性と対処法	
2	グルーミング実習/チワワ、パグ	
3	グルーミング実習/WaNファミリー	
4	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
5	グルーミング実習/WaNファミリー	
6	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア	
7	グルーミング実習/WaNファミリー	
8	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬	
9	グルーミング実習/WaNファミリー	
10	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル	
11	グルーミング実習/WaNファミリー	
12	グルーミング実習/チワワ、パグ	
13	グルーミング実習/WaNファミリー	
14	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
15	グルーミング実習/WaNファミリー	
16	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師兼トリマー10年、独立サロン経営18年

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物栄養学Ⅱ				
担当教員	川口　和清		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	栄養学的管理が疾患の治療と健康の維持に大きく関連する疾病について各論として学ぶ。獣医師によって予後診断された中で、動物看護師が栄養学的な管理に関わられる疾患について学び、課程での最適な管理を飼い主に指導できる知識を習得する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	疾患別の管理については、市販の療法食を活用することが多いため、その療法食の特性を理解し、獣医師の指導のもとで使用することの確認と、必ず定期的な指導のもとで使用することを周知させる必要がある。動物看護師は、獣医師の診断内容と栄養学的な内容を理解し、その疾患に関連する解剖学や生理学の知識を復習して、栄養学および食事の指導をする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	（株）インターズー発行　基本からよくわかる犬と猫の栄養管理、その他資料配布				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	尿路結石／猫下部尿路疾患①	テキスト、資料を使用
2	尿路結石／猫下部尿路疾患② 心臓病①	テキスト、資料を使用
3	心臓病②	テキスト、資料を使用
4	消化器病①	テキスト、資料を使用
5	消化器病②	テキスト、資料を使用
6	消化器病③ 腎臓病①	テキスト、資料を使用
7	腎臓病②	テキスト、資料を使用
8	肝臓病①	テキスト、資料を使用
9	肝臓病②	テキスト、資料を使用
10	口腔疾患①	テキスト、資料を使用
11	口腔疾患② 糖尿病①	テキスト、資料を使用
12	糖尿病②	テキスト、資料を使用
13	食物アレルギー①	テキスト、資料を使用
14	食物アレルギー②	テキスト、資料を使用
15	関節炎	テキスト、資料を使用
16	がん①	テキスト、資料を使用
17	がん② 脳の加齢と認知障害①	テキスト、資料を使用
18	脳の加齢と認知障害②	テキスト、資料を使用
19	肥満①	テキスト、資料を使用
20	肥満② 甲状腺機能亢進症①	テキスト、資料を使用
21	甲状腺機能亢進症②	テキスト、資料を使用
22	ペットフード市場	テキスト、資料を使用
23	ペットフードに関する規則	テキスト、資料を使用
24	まとめ	小テスト実施

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	解剖生理の復習、小テストを実施し、理解度を確認する。

実務経験教員の経歴	ペットフードメーカーにて企画開発・営業等に携わった

科目名	食品学				
担当教員	川口　和清		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	ペットフードの原材料となる食品の栄養的特性や利用に関する知識、添加物や表示に関する知識を修得する。また、食品栄養成分表の活用実践し、エネルギーと栄養素の算出方法を学ぶ。手作り食を試食を実践で学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	動物の状態や目的によりペットフードに必要な食材を選び、エネルギーと栄養素を算出し、総合栄養食との栄養比較をすることができる。また、ペットフードの表示や成分を読み取ることができることを目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実教出版　オールガイド食品成分表2019、その他配布資料				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	授業概要、評価基準の説明　食品学を学ぶ意義 自分の食生活を見直す	自分の食生活と健康状態を見直すことで、食事について興味を持たせる。
2	食品添加物、飼料添加物（動物と人の添加物の違い）	資料を使用。人、家畜、ペットそれぞれが使用できる添加物について理解する。
3	エネルギー計算（自分の食卓のエネルギーを算出）	エネルギーの算出方法を学ぶ。
4	食品成分表の活用実践 手作りのペットフードの特徴と評価	犬猫の手作り食のメリットとデメリットを学ぶ。
5	食品成分表の活用実践 手作りのペットフードの特徴と評価	犬猫の手作り食とAAFCOの基準を比較する。
6	調理実習のための準備① （メニュー作成、給与量計算、給与動物の確保、給与動物の夕飯量計	レシピ本を活用し、メニューを考案する。
7	調理実習のための準備① （メニュー作成、給与量計算、給与動物の確保、給与動物の夕飯量計	給与量やエネルギーを算出する。
8	調理実習①	手作り食を作り、動物に試食させる。
9	栄養素の種類とはたらき（３大栄養素、ビタミン、ミネラル、食物繊維）	7大栄養素までを学ぶ（5大栄養素＋水＋食物繊維）
10	栄養素の種類とはたらき（フィトケミカル）	機能性成分を学ぶ
11	機能性成分が含まれる食品と疾病	機能性成分とサプリメントについて学ぶ
12	特定の疾病を考慮したレシピ作り	機能性成分と疾病の関係性を復習し、レシピ本を参考にメニューを考案する。
13	特定の疾病を考慮したレシピ作り　調理実習のための準備② （給与量計算、給与動物の確保、給与動物の夕飯量計算）	給与量やエネルギーを算出する。
14	特定の疾病を考慮したレシピ作り　調理実習のための準備② （給与量計算、給与動物の確保、給与動物の夕飯量計算）	給与量やエネルギーを算出する。
15	調理実習②	手作り食を作り、動物に試食させる。
16	嗜好試験	犬猫、エキゾチックアニマルの嗜好試験を実施。嗜好試験の種類と方法を学ぶ。
17	エキゾチックアニマルの嗜好品作り	手作りおやつ（ドライフルーツ、ドライベジタブル）を作る。
18	穀類 イモ類及びでん粉類	テキストを使用。種類や特徴を学ぶ。
19	野菜類	テキストを使用。種類や特徴を学ぶ。
20	果実類、きのこ類、 藻類	テキストを使用。種類や特徴を学ぶ。
21	魚介類	テキストを使用。種類や特徴を学ぶ。
22	食肉類	テキストを使用。種類や特徴を学ぶ。
23	卵類、 乳類、油脂類	テキストを使用。種類や特徴を学ぶ。
24	調理実習のための準備③（メニュー作成、給与量計算、給与動物の確保、給与動物の夕飯量計算）	レシピ本を活用し、メニューを考案する。給与量やエネルギー算出する。
25	調理実習③	手作り食を作り、動物に試食させる。
26	Food製菓実習	国際調理製菓専門学校にて、製菓実習を受ける
27	調理実習のための準備④ （Foodでの製菓実習を元に、動物用製菓を製作する）	Food製菓実習で製作したメニューを、動物用に考案する。
28	調理実習のための準備④ （Foodでの製菓実習を元に、動物用製菓を製作する）	給与量やエネルギーを算出する。
29	調理実習④	手作り食を作り、動物に試食させる。
30	まとめ	1年間のまとめ

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	1年次の基礎栄養学（5大栄養素）とエネルギー計算の復習をしておく。調理実習では、火災やケガに注意する。

実務経験教員の経歴	

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	介護実習				
	国際医療福祉カレッジ		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科アニマルセラピーコーディネーターコース	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	96
授業概要、目的、授業の進め方	・これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践に ついて、介護職がどのような環境で、どのような形でそのような仕事を行うのかを理解できる。 ・介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることが できる。 ・生活支援技術の基本知識の学習に加え、事例に基づく総合的な演習を行うことで、体系的な知識及び 技術の習得ができる。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	介護職員初任者研修の受講を修了し、資格を得る				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	団体が発行しているテキストを使用				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	職務の理解	テキスト、資料を使用
2	介護における尊厳の保持・自立支援	テキスト、資料を使用
3	介護の基本	テキスト、資料を使用
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	テキスト、資料を使用
5	介護におけるコミュニケーション技術	テキスト、資料を使用
6	老化の理解・認知症の理解・障害の理解	テキスト、資料を使用
7	こころとからだのしくみと生活支援技術①	テキスト、資料を使用
8	こころとからだのしくみと生活支援技術②	テキスト、資料を使用
9	こころとからだのしくみと生活支援技術③	テキスト、資料を使用
10	こころとからだのしくみと生活支援技術④	テキスト、資料を使用
11	こころとからだのしくみと生活支援技術⑤	テキスト、資料を使用
12	振り返り	テキスト、資料を使用
13		
14		
15		
16		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	介護職員初任者研修を行っている協会へ委託

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	ペットケア実習				
担当教員		実務授業の有無			
対象学科	動物飼育管理学科アニマルコミュニケーターコース	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	・犬、猫、うさぎ、モルモット、ハムスターの爪切り、耳掃除等の身体的ケアを実践する（シャンプーを除く） ・Tタッチ、リーディング、ボディラップの技法と効果を学び実践する ・ハーブ、マッサージ、ペットエステの効果を学び実践する 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	・ペット動物（犬、猫、うさぎ、モルモット、ハムスター）の身体的ケアの仕方を学び、実践できる。 ・ペット動物（犬、猫、うさぎ、モルモット、ハムスター）の心身のバランスやストレスサインを読み取ることが出来、状態に応じた対応や効果の期待できる施術・ケアが実践できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	ペットの身体的、精神的ケアの必要性	
2	犬のケア用品を学びケアを実践	
3	猫のケア用品を学びケアを実践	
4	うさぎのケア用品を学びケアを実践	
5	モルモット、ハムスターのケア用品を学びケアを実践	
6	犬の体のバランス、Tタッチ実践①	
7	犬の体のバランス、Tタッチ実践②	
8	猫・スモールペットの体のバランス、Tタッチ実践①	
9	猫・スモールペットの体のバランス、Tタッチ実践②	
10	ハーブ①	
11	ハーブ②	
12	ドッグマッサージ①	
13	ドッグマッサージ②	
14	ペットエステ（パック、タフロック）	
15	期末試験	
16	期末試験解説	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	アニマルコミュニケーション				
担当教員	ローレン・マッコール	実務授業の有無	○		
対象学科	動物飼育管理学科アニマルコミュニケーターコース	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	24
授業概要、目的、授業の進め方	海外からの特別講義 アニマルコミュニケーションの最先端の情報を取得				
学習目標（到達目標）	ペットの心に寄り添い、気持ちを汲み取ることができる動物のプロを目指す				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	アニマルコミュニケーションの基礎知識	
2	アニマルコミュニケーションの実践	
3	デモンストレーション	
4	ペットの写真を用いたデモンストレーション	
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	

科目名	グルーミング実習Ⅱ				
担当教員	山田　佳枝		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科 動物福祉・トータルケアアドバイザーコース	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	6	時間数	192
授業概要、目的、授業の進め方	2人で小型犬のシャンプーが30分、トータル90分で終了出来るように学ぶ。 また、個体に合ったシャンプー剤や作業が出来るようになる。 対面授業で実施。				
学習目標 （到達目標）	2人で小型犬のシャンプーが30分、トータル90分で終了出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	座学/合同　実習の流れ+犬の攻撃性と対処法	
2	グルーミング実習/チワワ、パグ	
3	グルーミング実習/WaNファミリー	
4	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
5	グルーミング実習/WaNファミリー	
6	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア	
7	グルーミング実習/WaNファミリー	
8	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬	
9	グルーミング実習/WaNファミリー	
10	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル	
11	グルーミング実習/WaNファミリー	
12	グルーミング実習/チワワ、パグ	
13	グルーミング実習/WaNファミリー	
14	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
15	グルーミング実習/WaNファミリー	
16	期末試験	
17	グルーミング実習/チワワ、パグ	
18	グルーミング実習/WaNファミリー	
19	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
20	グルーミング実習/WaNファミリー	
21	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア	
22	グルーミング実習/WaNファミリー	
23	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬	
24	グルーミング実習/WaNファミリー	
25	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル	
26	グルーミング実習/WaNファミリー	
27	グルーミング実習/チワワ、パグ	
28	グルーミング実習/WaNファミリー	
29	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
30	グルーミング実習/WaNファミリー	
31	グルーミング実習/WaNファミリー	
32	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師兼トリマー10年、独立サロン経営18年

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	就職実務Ⅲ				
担当教員	田中　和志		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかり理解した上で就職活動を進めていく。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	企業研究の方法を知ることができる。 企業訪問や就職試験について知ることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動画で学ぶ　就活ナビ				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	就職活動の流れ、必要書類作成について	・就職活動の基準、提出書類の種類、流れを知る ・履歴書の学歴や検定欄の更新
2	求人検索の方法、求人票の見方	・求人検索サイトを知る ・求人票を見ながら項目ごとの意味を知る
3	合同企業ガイダンス・会社訪問の心構え、準備	・合同企業ガイダンスへの参加に向けた準備 ・企業研究をどのように行うか知る
4	面接のマナー、面接の形式	動画5-2～3
5	コミュニケーションは「きく」から始まる、「話す」は「全身表現」	動画4-1～2
6	日本語の発声法、緊張は友達、リズミカルに話す	動画4-3～5
7	ディスカッションの基礎、筆記試験対策	動画5-4～5
8	内定お礼状の書き方	プリント
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	個別面談を行うこともあるので、毎回授業に出席すること。就職関係の提出物などの遅れがないようにすること。

実務経験教員の経歴	

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	コミュニケーション実践Ⅲ				
担当教員	竹石　拓矢		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	１年次に勉強したビジネスマナーを復習し、社会人になる準備を始める。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	社会人としてふさわしい立ち居振る舞いを身につけることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	内定先への暑中見舞い・年賀状の書き方	プリント
2	社会人になってからのマナー（日常のマナー）	プリント
3	社会人になってからのマナー（日常のマナー）	プリント
4	社会人になってからのマナー（日常のマナー）	プリント
5	社会人になってからのマナー（身だしなみ、敬語）	プリント
6	社会人になってからのマナー（身だしなみ、敬語）	プリント
7	社会人になってからのマナー（備品の名称、使い方）	プリント
8	社会人になってからのマナー（備品の名称、使い方）	プリント
9	社会人になってからのマナー（メール、ビジネス文書）	プリント
10	社会人になってからのマナー（メール、ビジネス文書）	プリント
11	社会人になってからのマナー（接待）	プリント
12	社会人になってからのマナー（接待）	プリント
13	社会人になってからのマナー（慶弔業務）	プリント
14	社会人になってからのマナー（慶弔業務）	プリント
15	社会人になってからのマナー（退職）	プリント
16	社会人になってからのマナー（退職）	プリント
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	書類作成や面接練習をすることもあるので、毎回授業に出席し、提出物などの遅れがないようにする。面接練習は必ず事前に準備をしておくこと。

実務経験教員の経歴	

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	異文化研究（海外研修）				
担当教員	竹石　拓矢		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	異国の文化（言語、気候、風習、歴史など）を研究することで日本との違いなどを考察する。 また、実際に海外に行き異国の文化に触れることで理解を目指す。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	異国の文化について理解を深めることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	無し				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	飛行機にて移動	パスポートの申請、飛行機の搭乗を経験する
2	現地到着、研修1日目	現地での食事、お金の支払いなどを経験する
3	研修2日目	現地での簡単な会話を行いながら文化に触れる
4	研修3日目	現地で様々な体験を通して文化に触れる
5	研修4日目、日本へ帰国	
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	ドッグトレーニング実習Ⅲ				
担当教員	佐藤　大輝		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	○犬の接点から観察、基礎ハンドリングまで行い就職後お客様や患者様の愛犬を扱う際に備える ○飼い主様が犬と豊かに過ごせるための必要になる道具を使い方含めて経験し必要性を伝える技術を磨く 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	就職時に役立つ犬の基礎ハンドリングと接客含めたコミュニケーション培う事が出来る。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	愛玩飼養管理士２級教本、セルフコーチング、犬のしつけきちんとブック				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
2	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
3	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
4	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
5	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
6	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
7	実技テストとスピーチテスト	実行したしつけの確認とスピーチ発表
8	テストのフォローバック	テストの内容の補足、解説
9	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
10	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
11	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
12	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
13	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
14	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
15	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
16	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
17	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認
18	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
19	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
20	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
21	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
22	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン
23	実技テストとプレゼンテスト	実行したしつけの確認と道具を使用したプレゼンを撮影
24	テストのフォローバック	テストの内容の補足、解説

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	犬が参加するので人、犬に対してケガが無いような接点を実行する。道具や物資を使用しているので破損に気を付ける。

実務経験教員の経歴	ドッグトレーナーとして１０年活動

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	ドッグトレーニング実習Ⅳ				
担当教員	長谷川　あや甫	実務授業の有無	○		
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	マナーハンドラーテストの合格を目指し、テストの項目についてのトレーニングを細分化しながら授業を進める。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	マナーハンドラーテストに合格し、基本的なトレーニングを飼い主にアドバイスできるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	マナーハンドラーテストレギュレーション				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	オスワリ、フセの誘導、誘導でヒールポジション	
2	ヒールポジション、ヒールでオスワリ、おいで	
3	ヒールポジション、ヒーリング、ヒール＋Sit、おいで（呼び込み）＋カラーを触る	
4	ヒールポジション、ヒーリング、ヒール＋Sit、おすわり待って１０秒→１３秒→７秒、ふせまって１０秒→１５秒→９秒、足拭き	
5	ヒールポジション、ヒーリング、ヒール＋Sit おすわり待って１０秒→１３秒→７秒	
6	刺激の中を歩く、おすわり待って伏せ待って、他人が触る、足拭き	
7	ヒールポジション→左手にトリーツを挟んで入れるを3回実施→トリーツを手に持たずに入れて後からトリーツを数回実施、	
8	ヒールポジションから犬の周りを一周する、ヒーリングしてターンした後にヒールポジションでオスワリ	
9	ヒールポジション、おいで（体の正面、座る、カラーを触る）	
10	刺激の中を歩く（最後はUターン＋Sit）、人の手に犬が鼻をタッチ、足拭き	
11	ヒールポジション、連続タッチ＆Sit,Down,H.P.、待って（後ろをまわる、HPから離れる）、	
12	マズル（手の輪に鼻を入れる）、おいで（ロングリードをつけて）	
13	ヒールポジション、連続タッチ＆Sit,Down,H.P.、待って（後ろをまわる、HPから離れる）	
14	マズル（手の輪に鼻を入れる）左右の手で行う。親指側＆小指側、おいで（ロングリードをつけて）おいでの言葉を教える、足拭き＆ブ	
15	マナーハンドラーテストのデモ（通し）を見る、要練習項目の検討	
16	それぞれでマナーハンドラーテストの自主練	
17	H.P.（手のシグナルあり。誘導なし）→おすわり待って→正面で２０秒。ハンドラーはH.Pへ戻る、足拭き&ブラッシング、コの字で歩く	
18	足拭き&ブラッシングでの対処	
19	マナーハンドラーテスト項目の通し練習：トリーツを一切使わない状態の把握、トリーツを少し使った状態の把握、苦手な項目、練習が必	
20	トリーツをランダムにしていく練習	
21	マナーハンドラーテスト項目通し練習、おいで（近くまで寄せる、距離を伸ばす）	
22	マナーハンドラーテスト項目通し練習、おいでの強化（リードの付け替え）	
23	教えなければいけない行動、項目間の集中をどう取るのか（タッチやスピン、ターンなど）、ツールを増やす（増やすためには行動として	
24	タッチ、スピンの強化、各項目練習	
25	通し練習（各グループ２～３名に分かれて項目をそれぞれ通しで行う）	
26	マナーハンドラーテストの練習	
27	各項目の練習、各項目間の対応	
28	各項目の練習、各項目間の対応	
29	マナーハンドラーテストの通し（２～3名で）ウォームアップ、スピン＆ターンなど	
30	マナーハンドラーテストの通し	
31	集中を戻す：各班２つ以上の新しいことを教える、環境変化の中でもすでに知っていることが出来るようにする	
32	項目間の集中を取る練習、連続で動作を行う	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
マナーハンドラーテストの合否50%、レポート提出50%（テスト合格はレポート無し） 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	しつけインストラクターとして25年活動

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	AAA概論Ⅲ				
担当教員	山﨑　恵子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	6	時間数	96
授業概要、目的、授業の進め方	動物介在活動と動物介在療法を理解することができる。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	一般社団法人アニマル・リテラシー総研が提示するプログラム課程を理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	一般社団法人アニマル・リテラシー総研 動物の施設内飼育を考える～医療・福祉・教育施設においてペットを迎えるための指針～				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	施設内飼育利点①	P1-2
2	施設内飼育利点②	P1-2
3	どのような動物の種類が適性か①	P3
4	どのような動物の種類が適性か②	P3
5	どのような動物の種類が適性か③	P3
6	どのような動物の種類が適性か④	P3
7	体制づくり①	P4-6
8	体制づくり②	P4-6
9	体制づくり③	P4-6
10	体制づくり④	P4-6
11	施設内飼育問題点①	P7-10
12	施設内飼育問題点②	P7-10
13	施設内飼育問題点③	P7-10
14	施設内飼育問題点④	P7-10
15	期末試験	
16	日本の現状と諸問題①	
17	日本の現状と諸問題②	
18	日本の現状と諸問題③	
19	日本の現状と諸問題④	
20	高齢動物のケア　保定方法	特別講義
21	動物の福祉　問題点と事例紹介	特別講義
22	プレゼンテーション①	
23	期末試験	
24	プレゼンテーション②	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	全ての授業に出席すること。

実務経験教員の経歴	動物業界団体に長年に渡りかかわる

科目名	AAA特論Ⅱ				
担当教員	坂田　光子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	人と動物の絆（HAB）の理念と動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育など社会活動を理解し、人と動物の共生に寄与する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	動物介在活動と動物介在療法を理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	学校飼育動物のメリットとデメリット、改善方法	プリント
2	学校飼育動物プレゼンテーション準備	プリント
3	プレゼンテーション①	
4	プレゼンテーション②	
5	施設評価とは	プリント
6	生命尊重教育とは	プリント
7	期末試験	
8	保育園での動物介在教育見学	ボランティア団体が行う動物介在教育現場の見学
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	2・3年生で行ってきたAAA実習の記録を用いて授業を行っていくため、AAA実習に毎回出席すること。

実務経験教員の経歴	動物病院マネージャー

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	AAA実習Ⅲ				
担当教員	青木　和孝		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	6	時間数	192
授業概要、目的、授業の進め方	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係と心理学的および社会学的側面から理解し、実際の高齢者施設へ動物達を連れて訪問する 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	安心、安全な訪問活動を心掛け、高齢者のQOL向上の1つとして訪問活動を実施できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	職員作成パワポ資料				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	訪問活動に向けて事前授業	パワポ資料
2	訪問活動に向けて事前授業	パワポ資料
3	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
4	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
5	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
6	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
7	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
8	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
9	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
10	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
11	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
12	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
13	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
14	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
15	期末試験	
16	期末試験の振り返り	
17	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
18	サイトアセスメント	施設への事前確認を見学
19	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
20	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
21	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
22	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
23	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
24	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
25	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
26	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
27	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
28	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
29	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
30	訪問活動 高齢者施設を訪問	バスを利用し、高齢者施設へ向かう
31	期末試験	
32	期末試験の振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	参加動物の参加の可否の判断を含め適切に対応できるよう状態把握のための観察力を身につける。それを元に動物の行動管理を適切に行い、施設対象者に対しても適切にコミュニケーションが取れるスキルを身につける。

実務経験教員の経歴	動物看護師として現在も勤務中

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	AAA実践Ⅱ				
担当教員	山下　静香		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	AAA実習の事前授業として、訪問活動に必要な技術を磨く 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	●訪問活動のシュミレーションを行い、自信を持って実習に臨むことができる ●訪問活動に必要な知識・技術を磨き、より質の高い実習を行うことができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	教員作成資料				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	高齢者施設でのレクリエーション	
2	高齢者施設の区別	プリントへ書き込み
3	AAA実習で訪問する施設について知る	PC準備
4	AAA実習で訪問する施設について知る	PC準備
5	AAA実習で訪問する施設について知る	PC準備
6	AAA実習で訪問する施設について知る	PC準備
7	学校紹介新聞を作成	手書きで作成
8	学校紹介新聞を作成	手書きで作成
9	学校紹介のパワーポイントの作成	PC準備
10	学校紹介のパワーポイントの作成	PC準備
11	学校紹介のパワーポイントの作成　最終段階	PC準備
12	学校紹介のプレゼン	PC準備
13	学校紹介のプレゼン	PC準備
14	学校紹介のプレゼン	PC準備
15	学校紹介のプレゼン	PC準備
16	学校紹介のプレゼン	PC準備
17	訪問活動について復習	配布プリントにて書き込み
18	高齢者への接し方	
19	高齢者への接し方	
20	WaNファミリーのプロフィールデータの確認	
21	WaNファミリーのプロフィールデータの確認	
22	カロリー計算	活動で使用するごほうびのカロリーを把握する
23	WaNファミリーの好きなごほうび調査	
24	動物のトリーツについて	市場調査
25	動物のトリーツについて	市場調査
26	紹介カードの作成	デコレーションやイラストでより見栄えの良いカードを各自作成
27	紹介カードの作成	デコレーションやイラストでより見栄えの良いカードを各自作成
28	紹介カードの作成	デコレーションやイラストでより見栄えの良いカードを各自作成
29	紹介カードの作成	デコレーションやイラストでより見栄えの良いカードを各自作成
30	紹介カードの作成	デコレーションやイラストでより見栄えの良いカードを各自作成
31	期末試験	
32	試験返却・解説	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	訪問活動はグループ内のコミュニケーション、情報共有がとても重要なため、各作業の際にはクラス内の雰囲気も確認しながら行う。紹介カードについては、高齢者が受け取る物なので、怪我をしない工夫、見やすい工夫が必要。

実務経験教員の経歴	動物看護師としても訪問活動に参加経験あり

科目名	動物飼育実習Ⅲ				
担当教員	佐山　恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	1、個体別ごとに適切な食事や環境を提供できるようになる 2、個体別に合わせたの犬の飼育に必要な接し方・ハンドリング・ケア方法を実践できるようになる 3、個体別に合わせた猫・小動物の飼育に必要な接し方・ケアの方法を学び、行えるようになる 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	正常な動物を知り、個体ごとに適した飼育管理が実践できるようになる（その動物一頭一頭に合わせた飼育管理が実践できるようになる）				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
2	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
3	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
4	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
5	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
6	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
7	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
8	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
9	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
10	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
11	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
12	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
13	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
14	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
15	期末試験	筆記と実技の試験
16	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
17	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
18	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
19	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
20	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
21	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
22	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
23	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
24	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
25	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
26	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
27	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
28	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
29	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
30	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
31	期末試験	筆記と実技の試験
32	ハムスターの飼育管理の実習・フィードバック	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	動物種ごとだけではなく個別性をを持ち、動物一頭一頭に合わせた飼育管理を実践できるよう働きかける。より高度な知識・技術の習得を目指し、動物の正常と異常を判断できるようになる働きかける。

実務経験教員の経歴	動物看護師として6年弱、動物病院に勤務していた

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	グルーミング実践Ⅱ				
担当教員	広川　美紀	実務授業の有無	○		
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	1人でグルーミングを行う際の準備や時間配分等を考え実践する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	1人で小型犬のシャンプーが３０分以内で終了し、かつ90分以内で全ての作業が終了出来る。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	座学/合同　実習の流れ+薬用シャンプー＋ゲーム	
2	グルーミング実習/チワワ、パグ	
3	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
4	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア	
5	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬	
6	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル	
7	グルーミング実習/チワワ、パグ	
8	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
9	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア	
10	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬	
11	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル	
12	グルーミング実習/チワワ、パグ	
13	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
14	グルーミング実習/チワワ、パグ	
15	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
16	期末試験	
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて看護師兼トリマー10年、独立サロン経営18年

科目名	栄養管理実践				
担当教員	稲川　祥子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	WaNファミリーの栄養管理を行う。問題点やＱＯＬ向上の観点から栄養面にアプローチをかける。必要な栄養素や飼い主のコンプライアンスに目を向け、担当を与えることで責任感を意識させる。 就職を見据えた意識改革を行う。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	問題点を明確にし、またＯＬ向上のための創意工夫をし、予防と治療から担当動物の栄養管理、栄養指導を行うことができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	（株）インターズー　基本からよくわかる犬と猫の栄養管理 実教出版　オールガイド食品成分表2019、その他配布資料				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物看護におけるＱＯＬ向上についての意義	動物看護の観点から伝える
2	調理実習について、アセスメント、班決め	隣の人をアセスメントする、担当動物の割り振り
3	看護計画立案、アセスメント（BW、BFI、BCSの確認）	見るのではなく、観察を行う
4	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	自発性、自立を習得する
5	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	まずはやってみる
6	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	頻繁に看護評価を行い、実績を確認
7	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	チームを意識する
8	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	調理実習の実施も可
9	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	調理実習の実施も可
10	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	調理実習の実施も可
11	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	調理実習の実施も可
12	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	調理実習の実施も可
13	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	調理実習の実施も可
14	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	調理実習の実施も可
15	看護評価	
16	期末評価（レポート）	
17	グループ変更、担当動物の割り振り、前期の振り返り	前期の実践内容を見直し
18	アセスメント	情報収集
19	看護計画立案、アセスメント（BW、BFI、BCSの確認）	見るのではなく、観察を行う
20	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	自発性、自立を習得する
21	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	まずはやってみる
22	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	頻繁に看護評価を行い、実績を確認
23	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	チームを意識する
24	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	調理実習の実施も可
25	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	調理実習の実施も可
26	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	調理実習の実施も可
27	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	調理実習の実施も可
28	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	調理実習の実施も可
29	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	調理実習の実施も可
30	常にアセスメントをし直す 看護計画、看護実践（グループごとに各自が考え、実行）	調理実習の実施も可
31	看護評価	
32	期末評価（レポート）	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。	カロリー計算ができない場合は１年次で履修した内容を復習しておく。また、調理実習を行うことからケガや事故にも注意し、意欲的に実習できるよう学生のやりたいことを尊重させる。ただし、目的がしっかりしていない場合にははっきりさせる。

実務経験教員の経歴	動物病院にて、動物看護師として約5年間の実務経験

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	ペット栄養管理士対策				
担当教員	稲川　祥子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	7	時間数	112
授業概要、目的、授業の進め方	基礎栄養学をより深く掘り下げ、６大栄養素と消化生理について、生化学を学ぶ。疾病の病態生理や要求栄養素の違いを理解し、特別療法食による食事指導ができるペット栄養管理士を目指す。また、法律、ペットフードの原料や添加物について理解し、ペットフードの輸入・製造・販売業者に必要な知識を習得する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	ペット栄養管理士資格の合格を目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ペット栄養管理士認定試験想定問題集（第5集）				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	ペットフードの添加物 ペットフードの各種動物試験法	問題集。資料の使用
2	ペットフードに使用される主な原料 ペットフードの種類と加	問題集。資料の使用
3	ペットフード市場 ペットフードに関わる諸法令とペットフードの表示	問題集。資料の使用
4	イヌとネコの食性・採食パターン・嗜好・採食量および飲水量	問題集。資料の使用
5	イヌのライフステージと栄養	問題集。資料の使用
6	エネルギー	問題集。資料の使用
7	小テスト	問題集。資料の使用
8	栄養素の消化と吸収	問題集。資料の使用
9	三大栄養素とその役割	問題集。資料の使用
10	ビタミン	問題集。資料の使用
11	ミネラル代謝	問題集。資料の使用
12	イヌ・ネコの肥満 ウサギの食事と病気	問題集。資料の使用
13	小テスト	問題集。資料の使用
14	消化器疾患と栄養	問題集。資料の使用
15	尿石症の食事療法 慢性腎不全の食事療法	問題集。資料の使用
16	肝臓疾患の食事療法	問題集。資料の使用
17	歯科疾患と食事 術後の栄養管理	問題集。資料の使用
18	がん患者の食事療法 糖尿病の食事療法	問題集。資料の使用
19	慢性心不全の食事療法 共通感染症	問題集。資料の使用
20	アレルギーの食事療法 異常行動と栄養管理	問題集。資料の使用
21	小テスト	問題集。資料の使用
22	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
23	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
24	模擬試験	問題集。資料の使用

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。	章ごとに小テストを実施し、理解度を確認する。 弱点克服では、各自の苦手分野を重点的に解答を進める。

実務経験教員の経歴	動物病院にて、動物看護師として約5年の実務経験

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	コミュニケーション概論Ⅱ				
担当教員	竹石　拓矢		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	コミュニケーションの持つ力を理解しコミュニケーション能力の礎とする				
学習目標（到達目標）	場面に応じたコミュニケーション、接遇が実践が出来る				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	”コミュニケーション”を考える①　コミュニケーションゲーム	3種類のゲームを通して、言語、非言語コミュニケーションについて特性を捉える
2	オープンキャンパスでのコミュニケーション実践①	オープンキャンパス学科スタッフとして、学校の魅力・WaNファミリーの魅力を伝える
3	オープンキャンパスでのコミュニケーション実践②	オープンキャンパス学科スタッフとして、学校の魅力・WaNファミリーの魅力を伝える
4	オープンキャンパスでのコミュニケーション実践③	オープンキャンパス学科スタッフとして、学校の魅力・WaNファミリーの魅力を伝える
5	オープンキャンパスでのコミュニケーション実践④	オープンキャンパス学科スタッフとして、学校の魅力・WaNファミリーの魅力を伝える
6	オープンキャンパスでのコミュニケーション実践⑤	オープンキャンパス学科スタッフとして、学校の魅力・WaNファミリーの魅力を伝える
7	オープンキャンパスでのコミュニケーション実践⑥	オープンキャンパス学科スタッフとして、学校の魅力・WaNファミリーの魅力を伝える
8	”コミュニケーション”を考える②　コミュニケーションゲーム	3種類のゲームを通して、言語、非言語コミュニケーションについて特性を捉える
9	”コミュニケーション”を考える③　コミュニケーションゲーム	3種類のゲームを通して、言語、非言語コミュニケーションについて特性を捉える
10	会話を広げるユーモア①	
11	会話を広げるユーモア②	
12	オープンキャンパスでのコミュニケーション実践⑦	オープンキャンパス学科スタッフとして、学校の魅力・WaNファミリーの魅力を伝える
13	オープンキャンパスでのコミュニケーション実践⑧	オープンキャンパス学科スタッフとして、学校の魅力・WaNファミリーの魅力を伝える
14	オープンキャンパスでのコミュニケーション実践⑨	オープンキャンパス学科スタッフとして、学校の魅力・WaNファミリーの魅力を伝える
15	オープンキャンパスでのコミュニケーション実践⑩	オープンキャンパス学科スタッフとして、学校の魅力・WaNファミリーの魅力を伝える
16	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。	

実務経験教員の経歴	

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	SNS実習				
担当教員	冨取　拓夢		実務授業の有無	×	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	SNSや動画投稿サイトを利用し、情報発信や人を引き付けるコンテンツの作成を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	自身で動画やブログを作成し、投稿ができるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	SNSとは	SNSの種類について
2	動画投稿サイトのしくみ	動画投稿サイトのアカウント作成
3	動画投稿サイトのしくみ	動画投稿サイトへの投稿の仕方
4	動画編集について	動画編集ソフトの使い方
5	動画編集について	動画編集ソフトの使い方
6	動画編集について	動画編集ソフトの使い方
7	動画編集について	簡単な動画作成
8	動画編集について	簡単な動画作成
9	動画作成	他授業で撮影した写真をつなげて動画をつくる
10	動画作成	撮影した動画を編集し投稿する
11	動画作成	他学科の活動を取材しに行く
12	動画作成	撮影した動画を編集し投稿する
13	動画作成	他学科の活動を取材しに行く
14	アンケートフォーム作成	アンケートフォームを作成する
15	前期期末課題作成	前期の授業をまとめた動画を作成する
16	振り返り	期末課題を確認しフォームを使用して投票をする
17	ブログ作成について	ブログ作成を学ぶ
18	ブログ作成について	ブログ作成を学ぶ
19	取材	他学科の活動を取材しに行く
20	ブログ作成について	取材内容をブログとしてまとめて投稿する
21	取材	他学科の活動を取材しに行く
22	ブログ投稿	ブログを編集し投稿する
23	後期期末課題作成	後期の授業をまとめたブログと動画を作成する
24	振り返り	期末課題を確認しフォームを使用して投票をする

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。	

実務経験教員の経歴	

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	グルーミング実践Ⅱ				
担当教員	広川　美紀		実務授業の有無	○	
対象学科	動物飼育管理学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	3	時間数	96
授業概要、目的、授業の進め方					
学習目標（到達目標）					
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	座学/合同　実習の流れ+薬用シャンプー＋ゲーム	
2	グルーミング実習/チワワ、パグ	
3	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
4	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア	
5	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬	
6	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル	
7	グルーミング実習/チワワ、パグ	
8	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
9	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア	
10	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬	
11	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル	
12	グルーミング実習/チワワ、パグ	
13	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
14	グルーミング実習/チワワ、パグ	
15	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
16	期末試験	
17	グルーミング実習/チワワ、パグ	
18	グルーミング実習/チワワ、パグ	
19	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
20	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア	
21	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬	
22	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル	
23	グルーミング実習/チワワ、パグ	
24	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
25	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア	
26	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬	
27	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル	
28	グルーミング実習/チワワ、パグ	
29	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
30	グルーミング実習/チワワ、パグ	
31	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー	
32	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて看護師兼トリマー10年、独立サロン経営18年